

山口県感染症発生週報

(第34週:平成29年8月21日～8月27日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

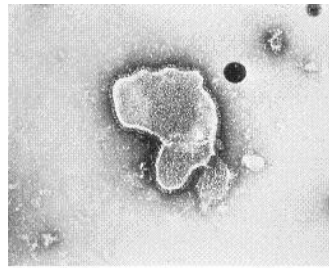
- ・結核:第33週追加 1例(下関)
第34週 6例(下関、岩国、周南、山口、宇部、長門)

【4類感染症】

- ・重症熱性血小板減少症候群:1例(周南)
- ・デング熱:1例(防府)
- ・レジオネラ症:1例(宇部)

【5類感染症】

- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:第33週追加 1例(下関)
- ・急性脳炎:第33週追加 1例(宇部)
- ・梅毒:1例(山口)



RSウイルス
CDC/E. L. Palmer

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

定点把握疾患

- ・RSウイルス感染症:下関、岩国、周南、防府、宇部で発生が多い状況です。
- ・手足口病:萩で再び増加し、警報レベルとなりました。県全体で警報レベルが続いています。
[警報レベル:下関(9週目)、周南(9週目)、長門(6週目)、萩(1週目)]*
- ・ヘルパンギーナ:防府で警報レベルが続いています。
[警報レベル:防府(7週目)]*
- ・流行性耳下腺炎:萩で増加し、注意報レベルとなりました。
[注意報レベル:萩(1週目)]*
- ・流行性角結膜炎:防府で警報レベルが続いています。山口で増加し、警報レベルとなりました。
[警報レベル:防府(4週目)、山口(1週目)]*

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。
<http://kanpokken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuhiho.php>

(2)週別発生状況

疾患名	32週	33週	34週	疾患名	32週	33週	34週
インフルエンザ	2	2	5	百日咳	1	0	2
RSウイルス感染症	142	108	121	ヘルパンギーナ	138	44	43
咽頭結膜熱	11	14	19	流行性耳下腺炎	51	29	25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	29	23	54	急性出血性結膜炎	0	0	0
感染性胃腸炎	121	70	131	流行性角結膜炎	15	18	28
水痘	16	8	3	クラミジア肺炎	0	0	0
手足口病	252	105	122	細菌性髄膜炎	0	0	0
伝染性紅斑	0	1	1	マイコプラズマ肺炎	1	1	2
突発性発しん	15	12	24	無菌性髄膜炎	0	0	0
				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	3	0	2	0	0	0	5
RSウイルス感染症	32	25	2	24	7	4	25	1	1	121
咽頭結膜熱	2	1	0	6	7	0	3	0	0	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	6	1	19	0	1	9	1	1	54
感染性胃腸炎	37	5	1	34	2	9	17	0	26	131
水痘	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3
手足口病	28	19	4	37	1	5	10	7	11	122
伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
突発性発しん	7	0	1	12	0	1	2	0	1	24
百日咳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
ヘルパンギーナ	6	1	4	8	7	6	8	2	1	43
流行性耳下腺炎	5	1	1	3	1	4	1	3	6	25
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	1	0	0	17	9	1	0	0	28
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 感染症発生動向調査における病原体検出情報

- ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS):SFTSウイルス(検体採取週 第34週)が検出されました。